

# 千代田区の川沿いの 現状・課題

## 1

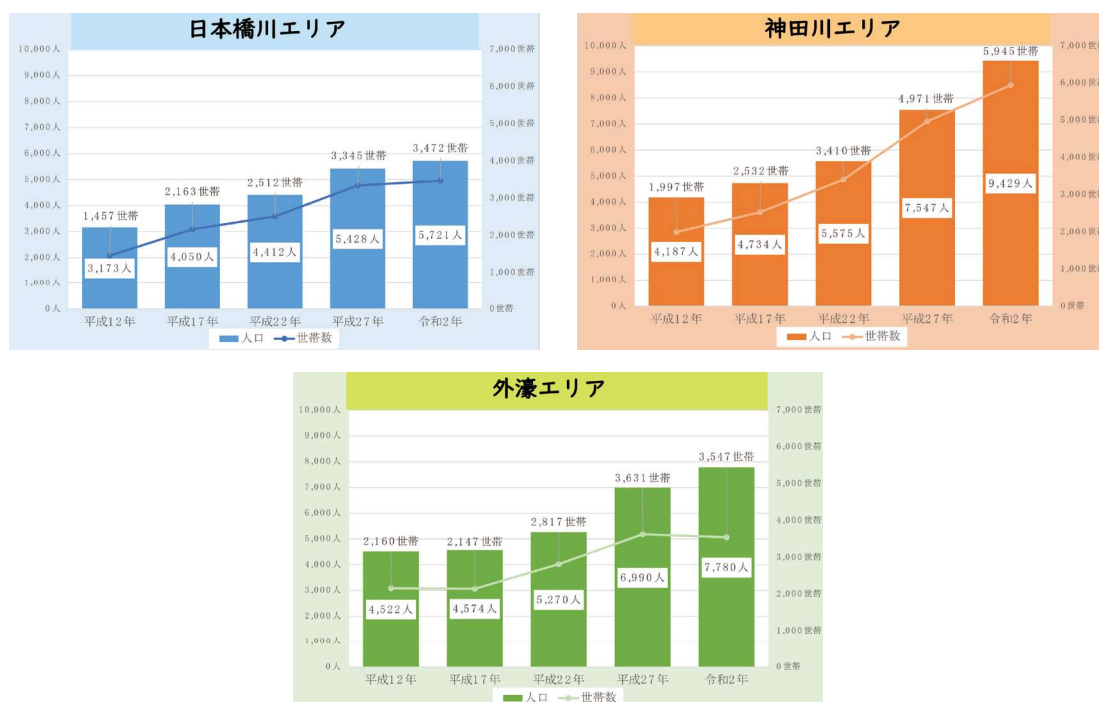
## 対象エリアの人口・世帯数推移

令和2年の人口は日本橋川エリアで約5,700人、神田川エリアで約9,400人、外濠エリアで約7,800人となっています。（令和2年国勢調査より）

全エリアとも人口は増加傾向にあります。中でも神田川エリアは平成12年と比較し、約2倍にまで増加しています。

世帯数についても、全エリアで平成12年から令和2年の間に大きく増加しています。特に神田川エリアでは約3倍と急激に増加しています。

### ■各エリアにおける人口と世帯数 ※国勢調査より作成



## 2

## 対象エリアの昼間人口と昼夜間人口比率



## 日本橋川エリア

日本橋川エリアでは、全体的な昼間人口は平成12年から平成27年にかけて大きな変化はなく、10万人を超える高い値を維持しています。

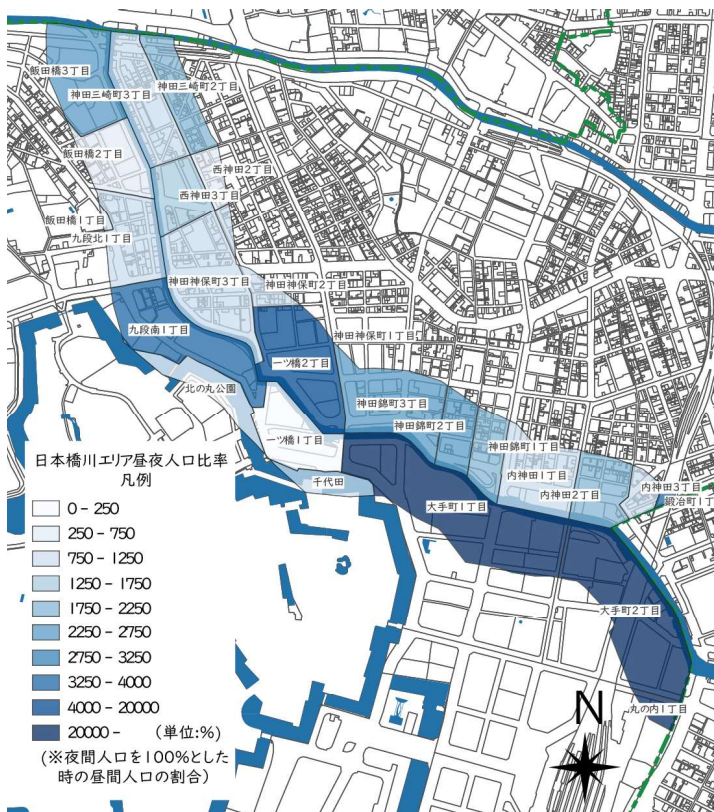
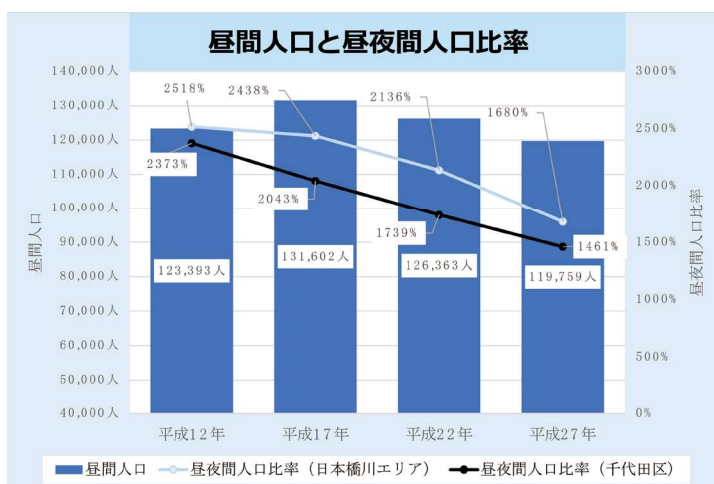
昼夜間人口比率をみると、人口が増加している影響から低下が続いていますが、日本橋川エリアの昼夜間人口比率の値は千代田区全体の値を上回った値を維持し続けています。

エリア内の昼夜間人口比率の内訳をみると、大手町・丸の内は比率がとても大きくなっております。

一方で、上流にあたる神田神保町、西神田、神田三崎町では千代田区平均を下回るもしくは同等の昼夜人口比率となっております。

## ■日本橋川エリア内各町丁目別の昼夜間人口比率

※国勢調査、東京都の昼間人口より作成







## 神田川エリア

神田川エリアでは、全体的な昼間人口は平成12年から平成27年にかけて増減しながら平成27年度時点では9万人強となっています。

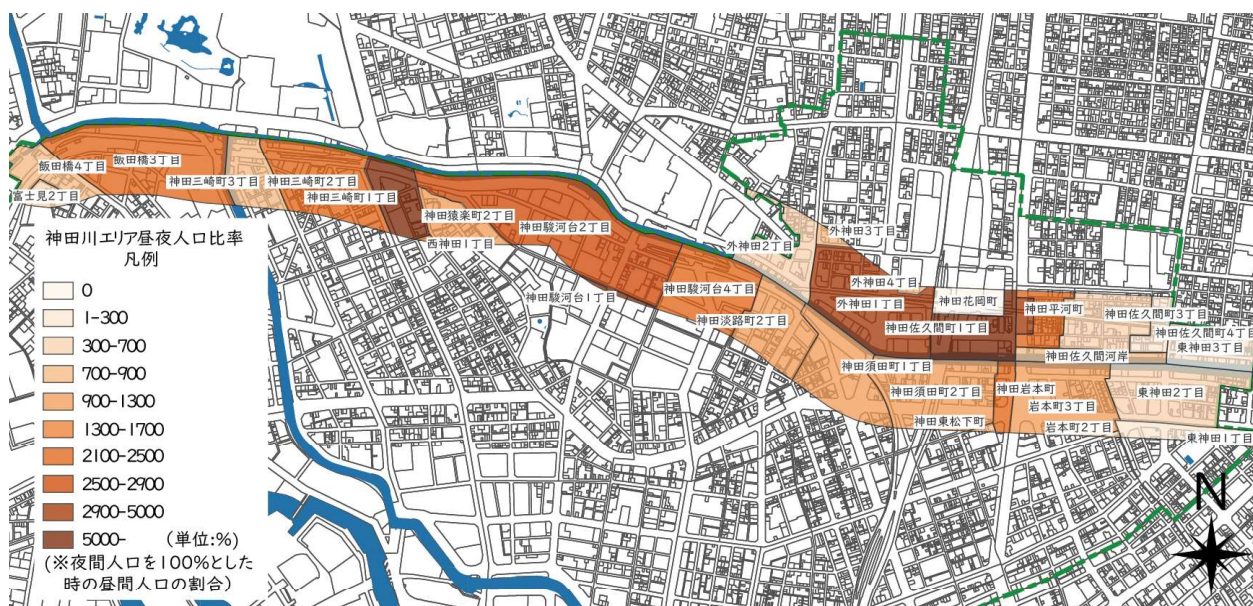
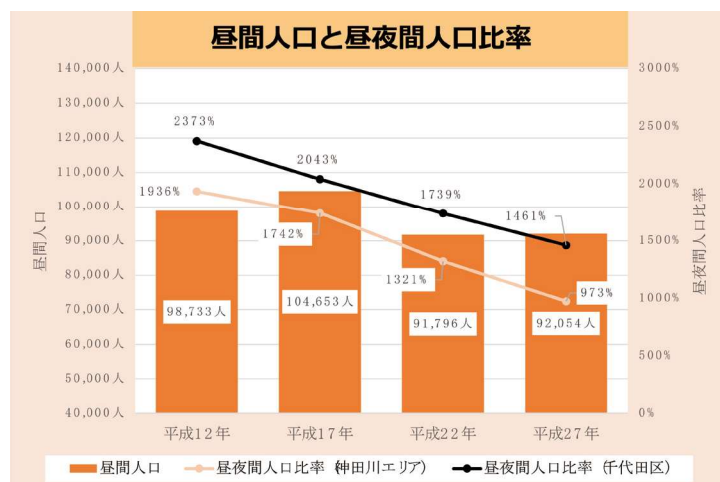
昼夜間人口比率をみると、千代田区全体の値より低く推移しており、平成27年には定住人口が増加した影響もあり、1,000%を下回っています。

エリア内の昼夜間人口比率の内訳をみると、神田川の下流側である東神田や神田佐久間町三、四丁目は比較的值が小さく、秋葉原周辺の外神田や神田佐久間町一丁目の値が大きくなっています。

一方で、神田駿河台から西側は1,300%を超える値となっています。

### ■神田川エリア内各町丁目別の昼夜間人口比率

※国勢調査、東京都の昼間人口より作成





## 外濠エリア

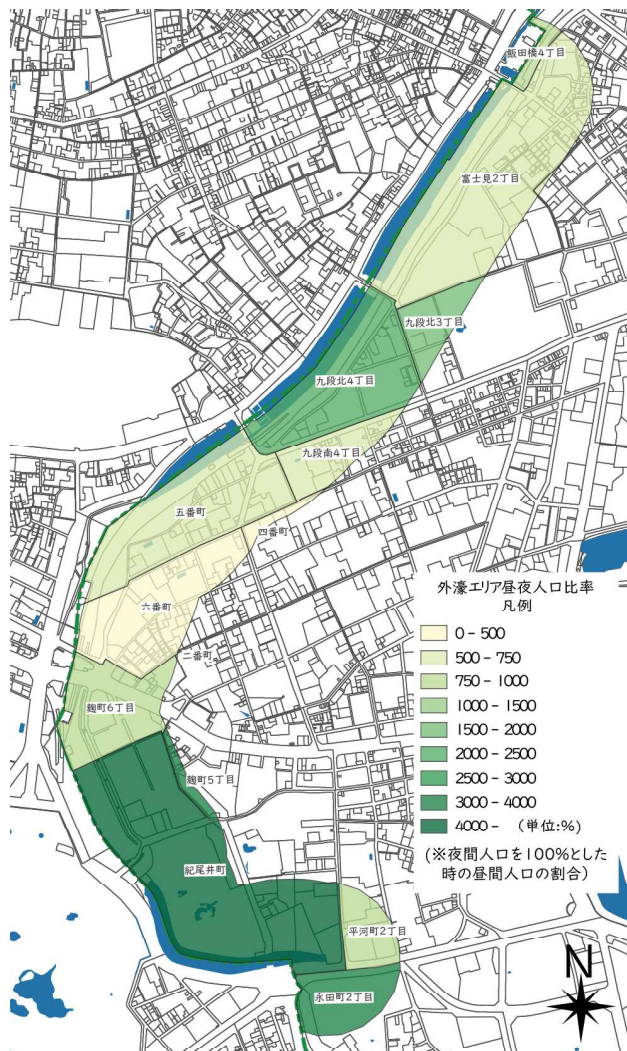
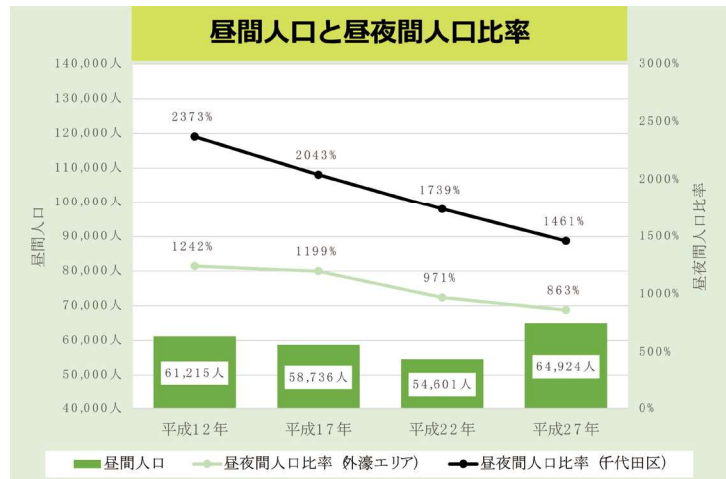
外濠エリアでは、全体的な昼間人口は他のエリアと比較し少ない値となっており、平成12年から平成27年にかけては微増しているものの、約6万5千人となっています。

昼夜間人口比率をみると、千代田区の値を大きく下回って推移しており、平成27年には863%となっています。

エリア内の昼夜間人口比率の内訳をみると、大学や企業が集中している麴町五丁目、紀尾井町の値が大きくなっています。一方で富士見二丁目や番町地域では1,000%以下の値となっています。

### ■外濠エリア内各町丁目別の昼夜間人口比率

※国勢調査、東京都の昼間人口より作成





### 3

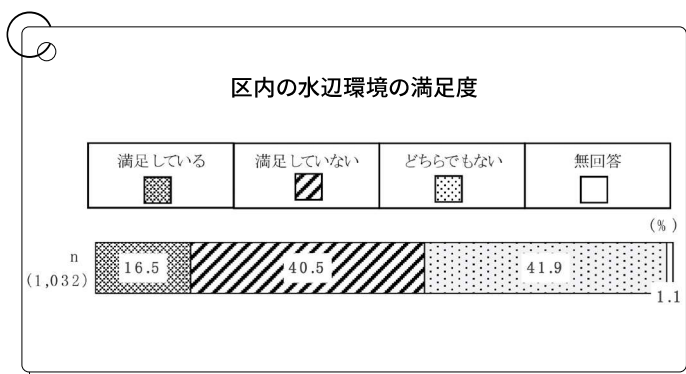
## 区民の川に対する意識

令和3年度に千代田区が行った区民世論調査において、千代田区民が川に対して「どのようなイメージを持っているか」をアンケート調査した結果です。

「区内の水辺環境の満足度」「満足していない理由」「水辺でしたい活動」の3つの項目について、次のような回答が得られました。

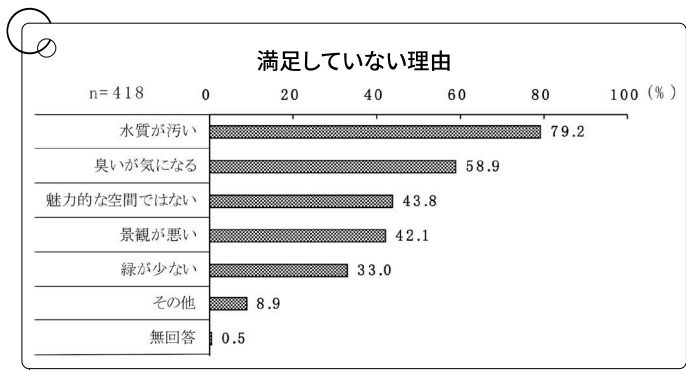
### 区内の水辺環境の満足度

区内の水辺環境の満足度では、「満足していない」が40%と高い割合を示し、「どちらでもない」の回答を除外すると満足している人の割合は20%を切っています。



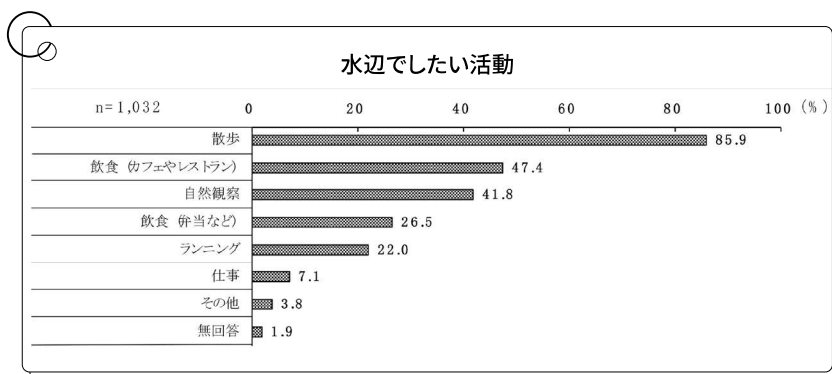
### (水辺環境に) 満足していない理由

満足していない理由では「水質が汚い」が79%と最も高く、次いで「臭いが気になる」、「魅力的な空間ではない」、「景観が悪い」の順番となっています。



### 水辺でしたい活動

水辺でしたい活動では、「散歩」が85%と最も高く、次いで「飲食（カフェやレストラン）」が47%と高くなっています。



## 4

## 土地利用

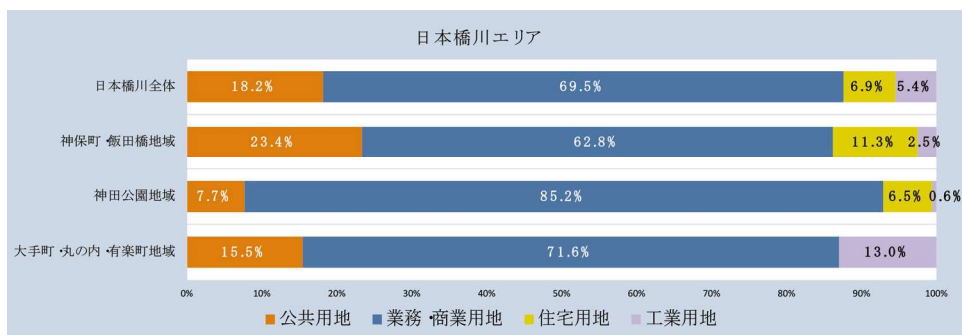
土地利用については、エリアごとに全体の分析を行うとともに、地域ごとの特性を把握するため、区都市マスタープランにおける7つの地域区分を基に分析を行いました。



## 日本橋川エリア

業務・商業用地が約7割を占め、次いで公共用地が2割弱となっており、住宅用地の割合は小さくなっています。

■日本橋川エリアの土地利用割合 ※平成28年度土地利用現況調査／沿川200mの範囲を集計



①神保町・飯田橋地域  
(神田三崎町～一ツ橋一丁目・  
飯田橋三丁目～一ツ橋二丁目)

合同庁舎など大型の公共施設が立地しており、公共用地の割合が日本橋川エリアでは最も大きくなっています。

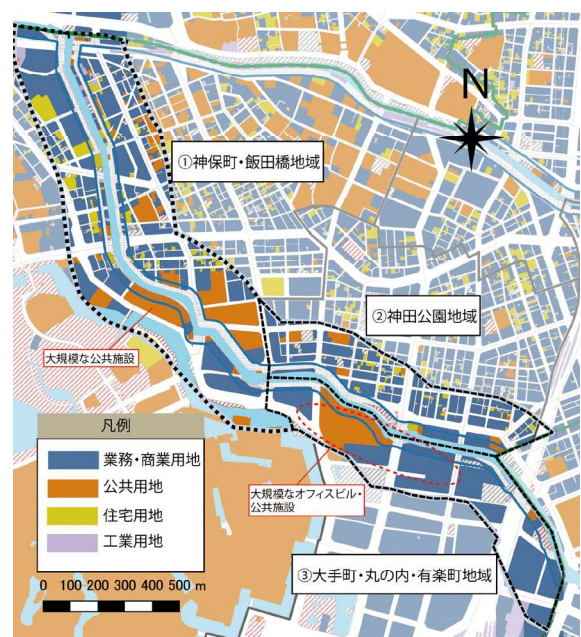
②神田公園地域(神田錦町三丁目～内神田二丁目)

川沿いには業務施設が立ち並び、地域の大半を業務・商業用地が占めています。

③大手町・丸の内・有楽町地域  
(大手町一丁目～大手町二丁目)

大規模なオフィスビル・公共施設が立ち並んでおり、日本橋川沿いでは再開発計画が一体的に進められています。

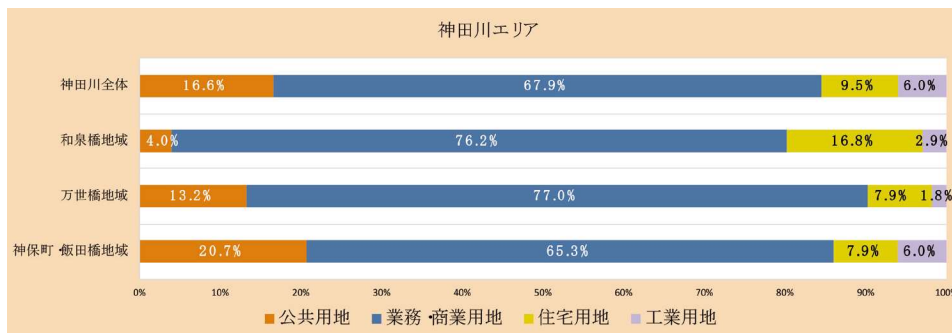
■日本橋川エリアの土地利用現況図



## 神田川エリア

全体を通して業務・商業用地が多くを占めていますが、地域ごとに土地利用の特徴があります。

**■神田川エリアの土地利用割合** ※平成28年度土地利用現況調査／沿川200mの範囲を集計



### ①和泉橋地域（神田佐久間町一丁目～東神田三丁目・神田須田町二丁目～東神田二丁目）

和泉橋地域には小・中規模の業務系施設が多く、また秋葉原駅に近い場所では商業系の建物が多くを占めています。一方で、下流側に行くに従い中規模の住宅の割合が増えています。

また、公共用地が占める割合は全地域で最も小さくなっています。

### ②万世橋地域（外神田二丁目～外神田一丁目・神田駿河台四丁目～神田須田町一丁目）

秋葉原駅を中心に大規模な商業・業務施設が集積する一方、神田川に近い場所では小規模な商業施設が多くなっています。

### ③神保町・飯田橋地域（飯田橋四丁目～神田駿河台二丁目）

神田駿河台周辺に大きな病院などがあり、公共用地が占める割合は神田川エリアの中で最も小さくなっています。

## **■神田川エリアの土地利用現況図**



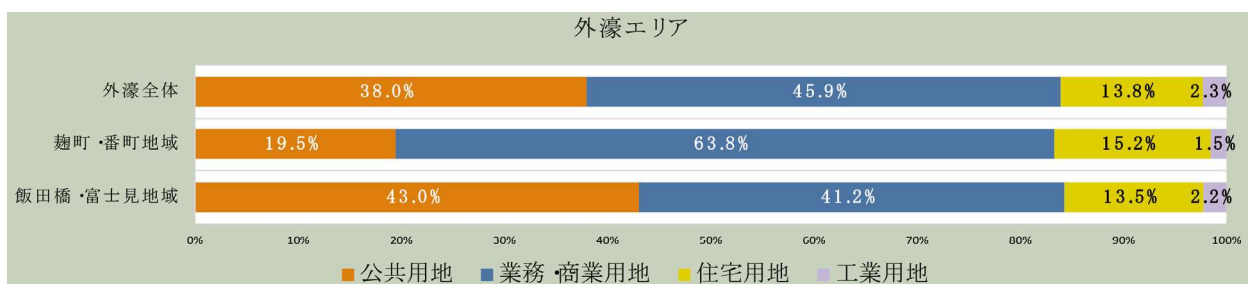




## 外濠エリア

公共用地が、その他エリアに比べ大きな割合を占める地域です。また、住宅用地の割合も3エリアの中では最も大きくなっています。

### ■神田川エリアの土地利用割合 ※平成28年度土地利用現況調査／沿川200mの範囲を集計



#### ①麹町・番町地域（紀尾井町～五番町）

川沿いの公共用地としては大規模な敷地を持つ大学が大きな割合を占めています。また、小規模な住宅が点在しており、相対的に業務・商業用地の割合は小さくなっています。

#### ②飯田橋・富士見地域 （九段北四丁目～飯田橋四丁目）

大規模な大学・病院が存在し、公共用地の占める割合が大きい一方、再開発による高層住宅が数か所完成しており、住宅用地の割合も大きくなっています。

### ■外濠エリアの土地利用現況図





## 〈各エリアの比較考察〉

各エリアの土地利用の現況を分析した結果、以下のような特性がわかりました。

- **日本橋川エリア**では、全体にわたって業務・商業用地の割合が大きくなっているほか、川沿いには大規模な公共用地がいくつか広がっており、連続してつながっているような箇所も見られます。
- **神田川エリア**では、同じく業務・商業用地の割合が大きくなっていますが、住宅用地・公共用地の割合が地域ごとに異なっています。特に下流(和泉橋地域)は住宅用地の割合が大きく、公共用地の割合が小さくなっており、上流(神保町地域)は住宅用地の割合が小さく、公共用地の割合が大きくなっています。
- **外濠エリア**では、他エリアに比べ業務・商業用地の割合が少なく、公共・住宅用地の割合が大きくなっています。中でも飯田橋・富士見地域は大規模な教育施設や病院が点在し、公共用地の割合が大きくなっています。

## 5

## 地域資源

地域資源として、人々が立ち寄れる施設や特徴的な歴史資源、神社仏閣、滞留空間としての公園の抽出を行いました。

## 橋りょう

千代田区内の川に架かる橋りょうは、関東大震災後に架橋された震災復興橋りょうと呼ばれる橋りょうが多くを占めています。

これらは当時の先進技術を用い、美観と機能を兼ね備えた橋りょうとして、千代田区景観まちづくり重要物件に指定し、将来にわたって保全に努めていくとともに、補修時には竣工当時の外観に復元する取組みを実施しています。



▲常盤橋(震災復興橋りょう)

## 公園

千代田区内には多くの公園が点在していますが、国民公園である皇居外苑、千鳥ヶ淵戦没者墓苑、都立公園である日比谷公園を除き、児童遊園や区立公園が主となっています。児童遊園や区立公園の多くは、橋詰空間や、まちなかにある空地を利用した小規模な公園となっています。

## 大規模店舗

千代田区内には大規模店舗が多数存在し、東京駅周辺、秋葉原周辺、神保町周辺にその多くが集積しています。川沿いのエリア内に存在するのは秋葉原周辺にある大規模店舗が多くを占めており、家電量販店が中心となっています。

## 神社・寺院

神社・寺院は、東京大神宮や靖国神社、神田明神など、千代田区内に15か所存在しています。なお、川沿いには5か所の神社・寺院が存在しています。



▲対岸からみた柳森神社

## 文化財

千代田区内には江戸時代から明治時代にかけての文化財が多く、現在、国指定文化財、東京都指定文化財、千代田区指定文化財が数多く存在しています。

## 史跡

千代田区内の外濠沿いには、多くの史跡があります。江戸城外濠跡などは、歴史を感じられる貴重な史跡です。

## 建築物

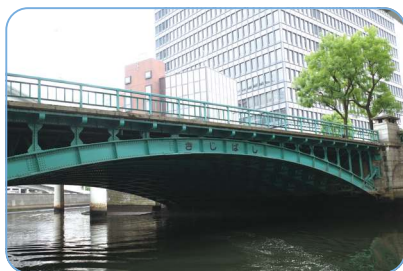
川沿いには、歴史を感じられる建築物が多く残っています。歴史ある建築物は、特徴あるものが多く、人の興味をわかせる存在になっています。



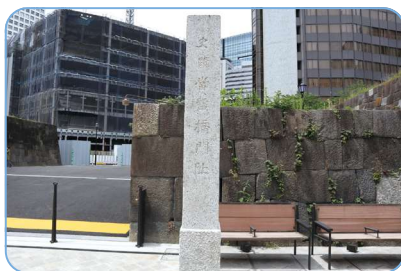
## 日本橋川エリアの資源

日本橋川エリアでは、いくつかの小規模な公園が点在しています。

また、近年再開発が行われた飯田橋アイガーデンエアや大手町地区で現在進行中の再開発では、川沿いの歩行者空間の整備が進んでいます。



▲雄子橋



▲常盤橋門跡



▲旧九段会館

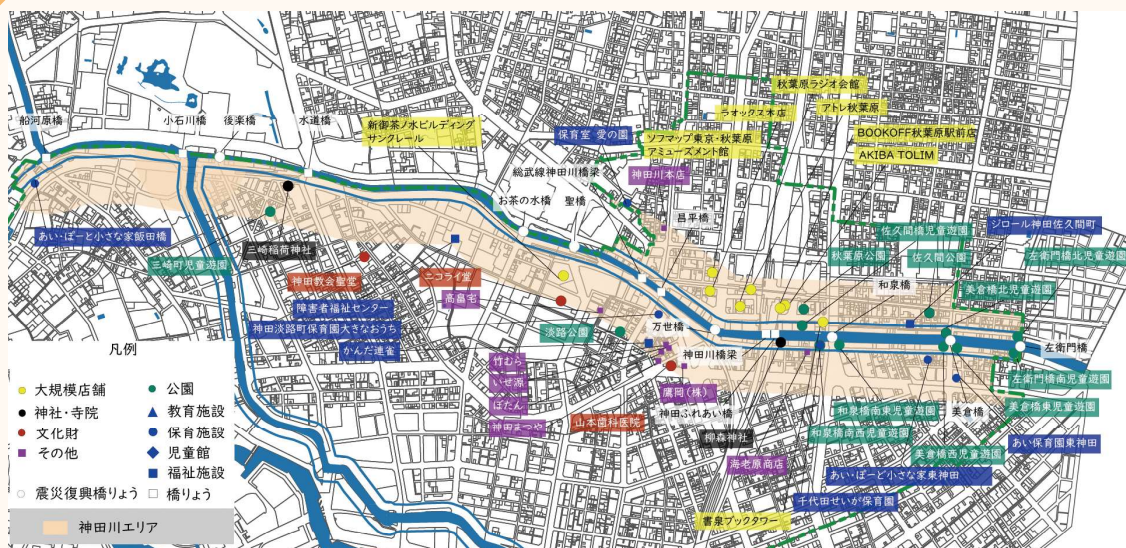




## 神田川エリアの資源

神田川エリアでは、万世橋地域周辺を中心として大規模な商業施設が集積しており、周囲のオフィスビルも含めて、商業的な利用が盛んになっています。その中に、規模は小さいものの橋詰空間を利用した公園がいくつか点在しています。

川沿いには柳森神社や三崎稲荷神社といった川に面した神社が存在しています。



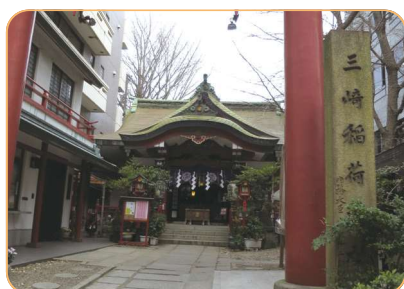
▲神田川からみたmAAch ecute



▲神田川から見上げた聖橋



▲ニコライ堂



▲三崎稲荷神社



▲昌平橋



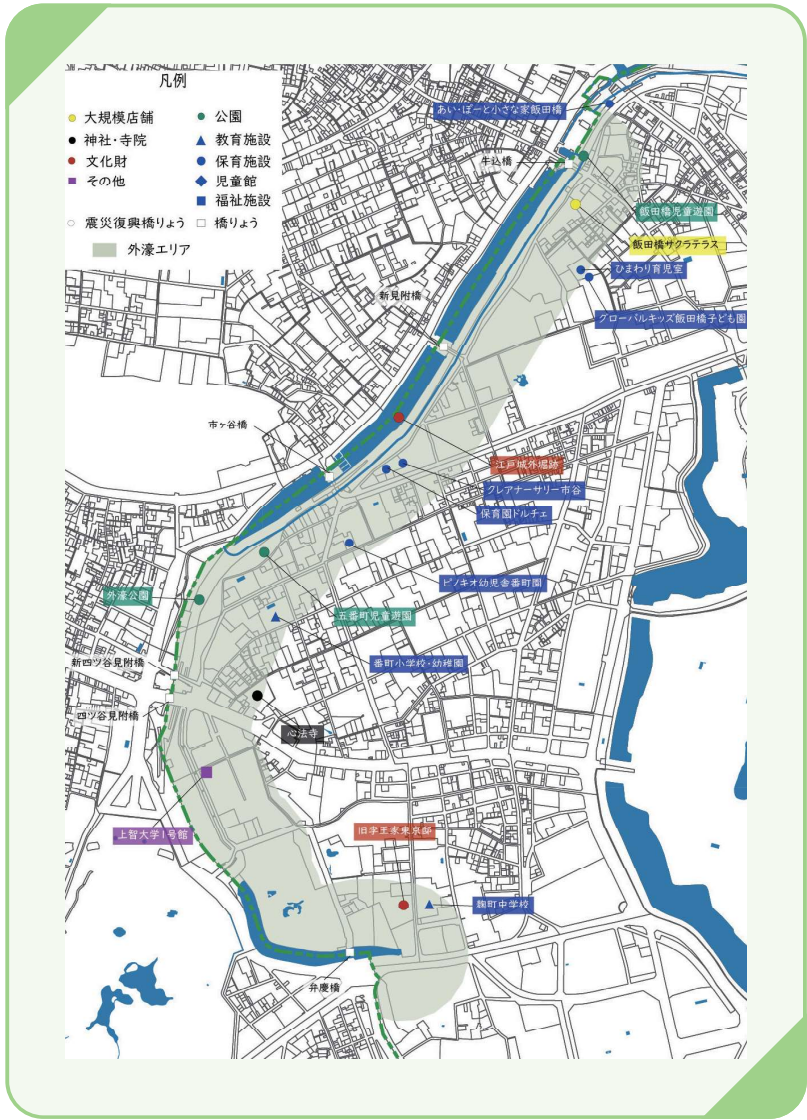
▲和泉橋南東児童遊園



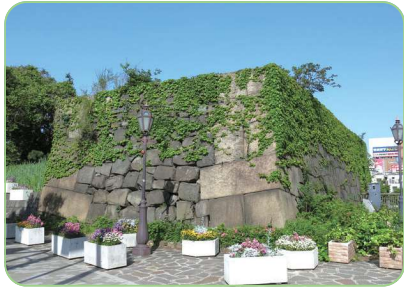
## 外濠エリアの資源

外濠エリアは、外濠に沿うように、鉄道や線状に広がる外濠公園や児童遊園があり、緑の多い落ち着いた雰囲気のあるエリアとなります。

飯田橋サクラテラスでは、外濠の景色が楽しめるテラスなどが設けられています。



### ▲外濠公園の水面



### ▲外堀跡の石垣



### ▲飯田橋サクラテラス